

				代 表 者	経理責任者
					
支 払 伝 票					経理番号
					/
会 派 名	加古川維新の会	年 度	6 年度		
項 目	備品消耗品	金 額	20,218 円		
内 容	インクカードリッジ				
支 払 先	株式会社関西ケースデンキ ケースデンキ加古川店	支払年月日	2025 年 1 月 17 日		
備 考	ブラザー純正 インクカードリッジ 赤青黄 各色2,618円 ブラザー純正 インクカードリッジ 4色セット 12,364円				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）					

新製品が安い K's ケーズデンキ

お買上げ明細

2025年 1月17日(金)

11時21分

〜明細〜

1 ●インクカートリッジ ブラザー工業 4977766761932 LC3119Y	・ 持帰
1点	10% ¥2,618
2 ●インクカートリッジ ブラザー工業 4977766761925 LC3119M	・ 持帰
1点	10% ¥2,618
3 ●インクカートリッジ ブラザー工業 4977766761918 LC3119C	・ 持帰
1点	10% ¥2,618
4 ●インクカートリッジ ブラザー工業 4977766769495 LC3119-4PK	・ 持帰
1点	10% ¥12,364
4点/合計	¥20,218
税率別内訳 / 課税対象額 10%	¥20,218
(内消費税額)	¥1,838

領収証

2025年 1月17日(金)

11時21分

加古川維新の会

様

金額 ¥20,218

(内消費税等 ¥1,838)

税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥20,218
(内消費税額 ¥1,838)

但し、お品代として

上記金額正に領収致しました。

〜決済内訳〜

現金 ¥20,218
(内消費税等 ¥1,838)

現金お預かり ¥20,218

登録番号:T7050001005202
株式会社関西ケーズデンキ

ケーズデンキ加古川店
電話番号 079-456-3901
販売担当者

店コード 2200005242285
売上伝票番号

パート・アルバイト 大募集中!
☆詳しい情報・応募は☆
↓↓ こちらから ↓↓



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			2
会 派 名	加古川維新の会	年 度	令和 6 年度
項 目	調査研究費	金 額	2, 3 7 6 円
内 容	道の駅遠野風の丘（岩手県遠野市）視察手土産代		
支 払 先	イオンリテール株式会社	支払年月日	令和7年1月19日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

領 収 証		No. 7992266
加古川維新の会 様		25年1月19日
金額		¥ 2 3 7 6 円
但し お集代 8%		収入印紙 (税抜5万円以上、但しクレジットでお支払いの場合は不要)
非課税対象 円		として
内 訳	軽減税率8%対象	2, 2 0 0 円
	消費税等	1 7 6 円
	外税10%対象	円
	消費税等	円
備考		
上記金額正に現金等・カードにて領収致しました。		
AEON		
イオンリテール株式会社 イオン 加古川店 〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家6-1-5 TEL.079-425-4121 登録番号 T2040001000456		
(注) 領収印及び承り係印のなきもの、金額訂正をしたものは無効です。		

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号	
			3	
会 派 名	加古川維新の会	年 度	令和 6 年度	
項 目	調査研究費	金 額	65,980 円	
内 容	道の駅遠野風の丘（岩手県遠野市）視察			
支 払 先	JR西日本ほか	支払年月日	令和7年1月21日	
備 考	あえりあ遠野に前泊した。タクシー代が(1,510円と1,210円になった)			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				
領 収 書 2025年 01月 21日 車両番号 0808 運 賃 ¥1510円 合計 ¥1510円 (適用税率 10%) (有) まるきタクシー 遠野市新穀町4-20 TEL 0198-62-0123 登録番号:T5400002010308 領 収 書 2025年 01月 21日 車両番号 0804 運 賃 ¥1210円 合計 ¥1210円 (適用税率 10%) (有) まるきタクシー 遠野市新穀町4-20 TEL 0198-62-0123 登録番号:T5400002010308				

出張調査届

令和7年 / 月 23 日

市議会議長様

会派名 加古川維新の会

代表者 落合 誠



このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名 落合 誠

調査都市名及び調査内容

岩手県遠野市議会「防災拠点としての道の駅の活用について」

場所：道の駅遠野風の丘（岩手県遠野市綾織町新里8地割2-1）

出張期間 令和7年1月20日（月）～ 1月21日（火）（2日間）

旅 費 内 訳	日 当 (単価 円 日分)	円	経 路
	宿 泊 料 (単価 14,000 円 1日分)	14,000円	別紙のとおり
	鉄 道 賃 (12,670円 × 2)	25,340円	
	急行料金 ((6,260円+5,700円) × 2)	23,920円	
	航 空 賃 ()	円	
	タクシー賃 (1,810円+1,310円)	3,120円	
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 ()	円	
	そ の 他 ()	円	
	合 計	66,380円	

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※往復割引適用後の運賃 14,080円×0.9≒12,670円（10円未満切り捨て）

※最寄駅から会場までは、公共交通機関の便が極めて少ないため、タクシーを利用する。

※往路は、電車の便と視察開始時間を考慮し、遠野駅からタクシー乗車とする。

加古川維新の会 落合議員 行政視察行程表

日付	行程						
1/20 (月)	(前泊)						
	加古川市議会	徒歩	加古川駅	JR	西明石駅	新幹線(ひかり)	新神戸駅
	新幹線(のぞみ)	東京駅	新幹線(はやぶさ)	仙台駅	新幹線(やまびこ)	新花巻駅	JR
	遠野駅					※前泊のため、出発・到着時刻は省略	
1/21 (火)	遠野駅	タクシー	道の駅 遠野風の丘 9:50着 11:40発	訪問 10:00~11:30	タクシー	綾織駅 13:08着	JR
	新花巻駅	新幹線(やまびこ)	仙台駅 15:23着 15:31発	新幹線(はやぶさ)	東京駅 17:04着 17:12発	新幹線(のぞみ)	新神戸駅 19:53着 20:12発
	新幹線(ひかり)	西明石駅 20:19着 20:29発	JR	加古川駅 20:39着			
	視察先	遠野市議会	電話番号	0198-62-2111(代表)		ご担当者様	
	視察先		電話番号		ご担当者様		



出張調査研修報告書

令和 7年 1月23日

市議会議長様

会派名 加古川維新の会

出張者氏名 落合 誠



印

印

下記のとおり報告します。

日程 令和 7年 1月20日(月)～21日(火)

研修先 道の駅遠野風の丘

研修事項

道の駅遠野風の丘（岩手県遠野市）視察

復命事項（所見及び感想）

遠野市は、明治三陸地震津波復旧支援も経験しており、平成19年の岩手県総合防災訓練を遠野市で行い、その後、三陸地域地震災害後方支援拠点施設整備推進協議会の必要性を感じて立ち上げ、翌年の岩手県宮城県合同でのみちのくアラート2008で後方支援拠点として参加したそうです。当時の経験がその後の東日本大震災時に後方支援拠点として道の駅遠野風の丘を中心に行ったそうで、考えられる想定を事前に訓練として実施する重要性を感じました。また、東日本大震災時の経験もしっかりと資料として残し、今回の道の駅の防災拠点として認定される時に経験したものを生かした再整備を行ったそうです。今では、地域や市民の皆様の急な災害時の備えとして、安心さも提供でき、さらに、地域の特産品の拠点として家族連れが目的地として来店したり、観光のPRにも繋がっていることと感動しました。見学時も観光掲載場所を見られる方も見受けられてPRにつながっていることを実感しました。また、リピーターも多くおり、採算も合い、黒字であることに満ちています。イベントも季節ごとに行い、閑散期の冬場は、地元市民向けのもので中心にしています。やはり、民間の指定管理者の努力は、重要であると再認識しました。道の駅としてというよりも災害時の後方支援の経験から自治体間の横の連携が初動時には、大変重要になり、日ごろからの県内外の市町とのつながりや友好市町村との連携が必要だということでした。本市においても日頃からより多くのつながりが必要と思われます。

出張に伴う経費の精算

前渡金額 66,380円

精算額 65,980円 過不足額 -400円

前泊：ありあ遠野

代 表 者	経理責任者
落合	中山

支 払 伝 票			経理番号
			4
会 派 名	加古川維新の会	年 度	令和 6 年度
項 目	調査研究費	金 額	3,240 円
内 容	道の駅保田小学校と相模原市視察手土産代		
支 払 先	イオンリテール株式会社	支払年月日	令和7年 1月 29日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

領 収 証		No. 7992285
加古川 維新の会 様		2025年 1月29日
金 額	¥ 3,240 円	
但し 手土産代 (お菓子)		
非課税対象 円 として		
内 訳	軽減税率8%対象	3,000 円
	消費税等	240 円
	外税10%対象	円
	消費税等	円
		内税10%対象 円
		内消費税等 円
		備考

上記金額正に現金等・カードにて領収致しました。

イオンリテール株式会社 イオン 加古川店
〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家615
TEL.079-425-4121
登録番号 T2040001000456

(注) 領収印及び承り係印のなきもの、金額訂正をしたものは無効です。

代 表 者	経理責任者
	 

支 払 伝 票	経理番号
	5

会 派 名	加古川維新の会	年 度	令和 6 年度
項 目	調査研究費	金 額	150,870 円
内 容	都市交流施設・道の駅保田小学校視察 相模原市(オーガニックビレッジ宣言について)視察		
支 払 先	道の駅保田小学校 他	支払年月日	令和7年1月30日
備 考	道の駅保田小学校 (視察資料代)1,000円×3名分		

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること (書類が多い場合は裏面に続く)

領収証

No. 000461

加古川維新の会 様

2025 年 1 月 30 日

金額

¥ 3,000.-

内訳	
ジ視察代として但	
10%対象税込金額 / 消費税額等	3,000 / 272
8%対象税込金額 / 消費税額等	
現金・カード・小切手・()	

☐ 軽減税率対象品
上記正に領収いたしました

収 入
印 紙

都市交流施設 道の駅保田小学校
〒299-1902 千葉県安房郡鋸南町保田1-1-4
TEL 0470-29-5530 FAX 0470-50-1755



扱 者 印



登録番号 T4010001066795

出張調査届			令和 7 年 1 月 16 日
市 議 会 議 長 様		会派名 <u>加古川維新の会</u> 代表者 <u>落合 誠</u>	
このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。			
出張者氏名 落合誠、橋本南、中山俊明			
調査都市名及び調査内容 【1月30日（木）】 14：30～15：30 都市交流施設・道の駅 保田小学校（千葉県安房郡鋸南町保田724） 「道の駅の設置効果と今後の展望について」 【1月31日（金）】 13：30～15：00 相模原市議会（神奈川県相模原市中央区中央2-11-15） 「オーガニックビレッジ宣言について」			
出張期間 令和7年1月30日（木） ～ 令和7年1月31日（金）			
旅 費 内 訳	日 当 (単価 円 日分) 円	経 路	
	宿 泊 料 (単価 14,000円× 1泊) 14,000 円	別紙のとおり	
	鉄 道 賃 (10,670円+1,980円+410円+150円 +9,790円) 23,000 円		
	急 行 料 金 (6,260円+6,030円) 12,290 円		
	車 賃 () 円		
	バ ス 賃 () 円		
	高速料金 () 円		
	出席者負担金 () 円		
	合 計		49,290 円

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※49,290円×3名＝147,870円

創生加古川 行政視察行程表

日付	行程				
1/30 (木)	加古川駅 JR神戸線 西明石駅 新幹線 新神戸駅 新幹線 東京駅				
	JR総武線 君津駅 JR内房線 保田駅 徒歩 道の駅 保田小学校 訪問 13:30~15:30 ※昼食含む				
	宿泊先				
	視察先	道の駅保田小学校	電話番号	0470-29-5530	ご担当者様
1/31 (金)	宿泊先 徒歩 保田駅 JR内房線 君津駅 JR内房線 市川駅				
	JR総武線 御茶ノ水駅 JR中央線 新宿駅 京王線 調布駅 京王線				
	橋本駅 JR横浜線 相模原駅 徒歩 相模原市議会 訪問 13:30~15:00 徒歩				
	相模原駅 JR横浜線 新横浜駅 新幹線 新神戸駅 新幹線 西明石駅				
	JR神戸線 加古川駅				
	視察先	相模原市議会	電話番号	042-754-1111	ご担当者様



出張調査研修報告書

令和 7年 2月/3 日

市議会議長様

会 派 名 加古川維新の会

出張者氏名 落合 誠

中山 俊明

橋本 南



下記のとおり報告します。

日 程 令和 7年 1月30日(木) ~ 31日(金)

研 修 先 道の駅保田小学校と相模原市

研修事項

道の駅保田小学校視察と相模原市視察

復命事項（所見及び感想）

別紙にて

出張に伴う経費の精算

前 渡 金 額 147,870円

精 算 額 150,870円 過 不 足 額 3000 円

加古川維新の会 会派視察報告書

令和7年1月30日(木)【道の駅保田小学校】

鋸南町では、人口減少と高齢化率が約50%と非常に高く、地域住民から「交流人口を増やし、まちを活性化させてほしい」という要望が寄せられていました。そのため、2014年に保田小学校が廃校になる前から、都市交流施設としての活用が検討され、2015年にオープンしました。その後、道の駅としての登録が決まり、結果として「道の駅保田小学校」として開業することとなりました。

近年、少子化の進行により全国各地で生徒数減少による閉校が増加しており、廃校施設の活用が課題となっています。道の駅保田小学校は、このような背景のもと、小学校跡地を道の駅に転換し、地域活性化に成功した好例といえます。本市においても今後、閉校となる学校施設の有効活用を検討する際に、大いに参考となる事例であると感じました。

道の駅で学校を活用しているところは、全国にいくつかありますが、「小学校」を名称に取り入れた道の駅は全国で唯一であり、立地も重要ではありますが、特徴を出すことで来店したい道の駅になるということで、学校を上手に活用しているのをいたるところで感じました。

「学校に泊まる」「給食を食べる」などの体験型観光要素がリピーターの増加や口コミによる集客につながっています。特にお土産品は、他にないようなかわいいものも多く、指定管理者の民間企業のセンスやUXデザイン（施設内における体験づくり）は重要な要素だと認識しました。また、都心から車で約1時間30分の距離にあり、高速道路IC（鋸南保田IC）にも近いことから、南房総エリアの観光拠点としての役割も果たしており、立地の強みを活かした誘客が可能となっています。

施設整備には約12億円の費用がかかっており、そのうち町の一般財源は2億8千万円、国庫補助の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金3億3千万円、千葉県公共施設再生可能エネルギー等導入支援補助金3千700万円など、多様な財源が活用されています。

施設内には地元産品の直売所があり、町内農家の販路拡大に貢献しています。さらに、指定管理者である株式会社共立ソリューションズが、宿泊・飲食・物販を統合的に管理し、民間の経営ノウハウを活かした運営を行っています。また、道の駅開業後の観光入込客数は、オープン前の94万人から164万人へと大幅に増加し、地域経済への貢献が見られます。売上についても、物販部門が全体の約8割を占め、令和4年度には7億4千万円の売上を記録するなど、安定した収益を確保しており、開業4年目以降は、町からの指定管理料を受け取るのではなく、収益の一部は町へ還元されているそうです。これにより、行政の財政負担を抑えながら持続可能なビジネスモデルを確立しており、民間企業の努力が地域にも還元される形となっています。実際に訪問した際の来場者の属性としては、バスツアーの団体客、祖父母と孫の家族層、ツーリング途中のバイカーなど、多様な層が訪れている点が印象的でした。

一方で、休日には駐車スペースが不足するという課題があるとのことでした。本市が道の駅事業を進める際にも、特にトラックの往来が多い地域では駐車スペースの確保が重要であると認識しました。

また、施設の充実を図るため、駐車場不足の解消や地域の子育て支援を目的として、昨年、幼稚園エリアを拡張し、より利便性の高い道の駅へと進化しています。こうした取り組みが評価され、テレビなどのメディアにも多く取り上げられ、さらなる集客にもつながっています。

さらに、道の駅保田小学校は、台風などの災害時には避難所としても活用される役割を果たしており、もともと学校であったため耐震性が高く、安全な避難施設としての機能も備えています。実際に、過去の災害時には避難所として活用された実績があり、地域にとって不可欠な施設となっています。

また、本施設は町長の母校であることから、町の象徴的な施設としての意義も持っており、町の活性化に対する意気込みが表れた施設であると感じました。

道の駅保田小学校は、他にはないユニークなブランディング、立地の強みを活かした観光客誘致、町民ニーズを反映した施設づくり、民間の経営ノウハウを活用した持続可能な運営が成功の鍵となっています。特に、訪れる理由を作ることが重要であり、行政と民間が連携しながら地域活性化を推進する仕組みが有効であると感じました。

今後、本市においても、単なる施設整備にとどまらず、地域の強みを活かし、民間と協力しながら持続可能な運営を実現する視点が重要になります。地域住民と行政、企業が一体となって「選ばれる場所づくり」を進めることで、地域経済の活性化や観光振興につなげていくことが求められます。また、臨海道路の整備が進められている本市においては、道の駅の整備が十分に活用できる可能性があります。本視察で得た知見を活かし、本市の特性に合った地域振興のあり方について、さらなる検討を進めていきたいと考えます。

令和7年1月31日(金)【相模原市オーガニックビレッジ宣言】

相模原市は、市内に3区があり、そのうち山梨県側の緑区には山林や農地が多く、他の2区は宅地や商業地が中心となっています。本市とは規模こそ異なるものの、都市構造として共通する点が多いと感じました。特に農業の特徴として、少量多品目栽培を主体とする都市型農業があり、農業のみで生計を立てている人は少ないとのことでした。

有機農業の推進とオーガニックビレッジ宣言を行った背景には、すでに有機農業を実践している農業者がおり、有機農業に取り組む団体が存在していたこと、また、農林水産省と連携した取り組みを行っている専門家がいたこと。さらに、専門家から「有機農業の推進をするのであれば協力する」とのアプローチもあったことが要因となったそうです。

有機農業を推進していくにあたっては、環境保全型農業も含め、既存の慣行農法を否定せず、バランスを取りながら進めることが重要であると考えられています。そのため、「農法に関係なく参加できる技術勉強会」を開催し、土づくりなどのテーマをもとに慣行農家と有機農家の交流を促している点が印象的でした。この勉強会には、慣行農家や農協職員も参加しており、特に太陽光を利用した土壌殺菌技術に関心を持つ農業者が多いとのことでした。このような取り組みにより、農業者同士の対立を防ぎながら、新たな知見を学ぶ機会を作るなどの工夫をされているとのことでした。

また、市長がオーガニックビレッジ宣言を行うことは、行政内部での有機農業の推進においても大きな意義があり、市内で有機農業に関心を持つ層の結集にもつながったそうです。宣言後には新規就農者が1名増え、特に新たに農業を始める人の多くは有機農業に関心が高いとのことでした。有機農業に取り組む環境が整うことで、相模原市が「選ばれる自治体」となり、新規就農者の確保につながっている点は注目すべき要素であり、本市においても有機農業推進が新規就農者確保の手段となる可能性があると感じました。

有機農業に対する消費者の理解を促進するため、相模原市では学校給食への有機米の試験導入や、マルシェの開催、「顔が見える農業」の推進などに取り組んでおり、特に学校給食においては「美味しい」「甘い」といったポジティブな評価が多く、残飯率の低下にも寄与しているとのことでした。このように、消費者に有機農業の価値を実感してもらう取り組みを進め、価格に対する納得感を高めることが、市場拡大の鍵となるとの視点は、本市にとっても示唆に富むものです。このように、消費者に有機農業の価値を実感してもらう取り組みを進め、価格に対する納得感を高めることが、市場拡大の鍵となるとの視点は、本市にとっても示唆に富むものです。また、本市の観光大使である上野樹里氏が、夢みる給食の講演でオーガニック給食について語ったこともあり、今後さらに関心が広がることが想定されます。

農林水産省では、オーガニックビレッジを2030年までに全国200市町村で創出することを目標としており、国や県もオーガニック化に向けた政策を進めています。さらに、「みどりの食料システム戦略」に基づき、2050年までに有機農業の取り組み面積を25%まで拡大することが目標とされており、本市としても早急に対応策を講じる必要があると感じました。

相模原市の有機農業推進率は現在0.6%にとどまっており、国が掲げる25%の目標にはまだ遠い状況ですが、継続的な取り組みが進められています。本市としても、この事例を参考にしつつ、有機農業の普及・

推進に向けた施策を早急に進める必要があると認識しました。特に、相模原市では農業者の合意形成を重視し、慣行農法と対立しない形で有機農業推進が図られており、こうした工夫は本市においても取り入れるべき視点であると感じました。

今後、本市においても、国や県の動向を注視しながら、有機農業推進に向けた地域特性に応じた施策の展開と体制整備を進めることが求められます。特に、本市も市長が宣言をすることから始めたいものです。今回の視察で得た知見をもとに、本市の特性に合った有機農業の推進策について、さらなる検討を進めていきたいと考えます。

【報告者】橋本 南・落合 誠・中山 俊明

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			6
会 派 名	加古川維新の会	年 度	令和 6 年度
項 目	研修費	金 額	56,025 円
内 容	「地方公共団体における総合計画の最新動向と進行管理のポイント」 「政策立案能力向上に向けたデータ利活用とEBPMの基礎知識」		
支 払 先	株式会社廣瀬行政研究所 ほか	支払年月日	令和7年2月14日
備 考	振込手数料385円含む		

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

〈たなよう〉カードサービス
ご利用明細票

ご利用いただきありがとうございます。
お取扱の明細は下記のとおりでございます。
裏面もご覧下さい。

ご利用年月日	取扱金庫店番・通番
07-01-07	1696018-1018
お取引金融機関	□ 座 番 号
*****-*****	
お 取 扱 金 種 万 円 千 円 百 円 十 円 円 角 分	お 取 扱 金 額
003000000	¥25,000 円
お取扱内容	お取扱後の残高
お振込	
利用手数料 (消費税込)	ページ硬貨
¥385	
時刻	おつり
4:29	¥4,615
銀行	
支店	
カ)ヒロセキ"ヨウセイケンキョウツ"ヨ様	
カコカ"ワツキ"カイオチアイマコト様	
TEL	
ご利用ありがとうございました。	

印紙税申告済
村たちき施古け
税務署承認済

但陽信用金庫

領収書

2025 年 1 月 7 日

加古川維新の会 様

金額

¥ 25,000

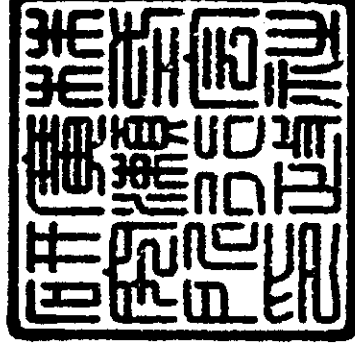
但 2025 年 2 月 14 日 セミナー受講料として
上記正に受領いたしました

〒112-0011

東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 廣瀬行政研究所

登録番号: T2011001095530



出張調査届

令和6年(2月25日)

市議会議長様

会派名 加古川維新の会

代表者 落合 誠



このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名 落合 誠

調査都市名及び調査内容

廣瀬行政研究所「総合計画と行政評価への議会としての関わり方」

場所：としま区民センター（東京都豊島区東池袋1-20-10）

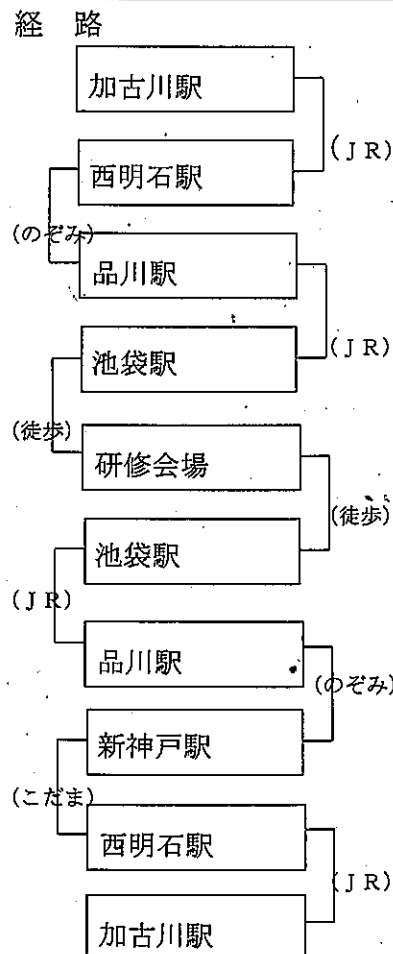
日程：2月14日（金）

10：00～13：00 地方公共団体における総合計画の最新動向と進行管理のポイント

14：00～17：00 政策立案能力向上に向けたデータ利活用とEBPMの基礎知識

出張期間 令和 7年 2月 14日（金）

旅 費 内 訳	日 当 (単価 円 日分)	円	経 路
	宿 泊 料 (単価 円 日分)	円	
	鉄 道 賃 (8,810円 × 2)	17,620円	
	急行料金 (6,560円+6,460円)	13,020円	
	航 空 賃 ()	円	
	車 賃 ()	円	
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 (受講料 25,000円)	25,000円	
	そ の 他 ()	円	
	合 計	55,640円	



※往復割引適用後の運賃 9,790円×0.9=8,810円（10円未満切捨て）



出張調査研修報告書

令和 7年 2月17日

市議会議長様

会派名 加古川維新の会

出張者氏名 落合 誠



印

印

下記のとおり報告します。

日 程 令和 7年 2月14日(金)

研修先 としま区民センター

研修事項

「地方公共団体における総合計画の最新動向と進行管理のポイント」

「政策立案能力向上に向けたデータ利活用とEBPMの基礎知識」

復命事項（所見及び感想）

「地方公共団体における総合計画の最新動向と進行管理のポイント」では、総合計画は、市全体を統一の方向に向けるもので、計画に表すことで見える化できます。1960年代までは、国からの縦割りの行政で市役所内の横の調整がなかった。地方分権の流れから市町が、総合的に施策を実施するようになり、総合計画が策定されるようになりました。基本構想10年、基本計画5年、実施計画3年の3つが存在するが、集約した2つなどにする市町も増えているそうです。また、藤沢市のように市長任期の4年を計画期間にするところもあり、それぞれに変わってきています。また、計画を策定するにあたり、市民参画が当然の時代になり、間接的なアンケートや直接的な公募委員を行うのが当たり前になっています。加古川市でも令和8年度、新たな総合計画を策定すると思われますが、今回の研修を参考にして、議会としての確認をしていくようすべきと再認識をしました。次に、「政策立案能力向上に向けたデータ利活用とEBPMの基礎知識」では、統計は、活用することが重要で適切な統計を使う必要があります。また、分析は、効果がわかるように適切な分析が重要です。また、分析時の平均には、最頻値、中央値、平均値があり、適切に活用する必要があるとのことです。政策が結果につながっているかを確認するにおいて、インプット指標、アウトプット指標、アウトカム指標があり、団体の活性化を目的に補助金を出す場合は、結果を分析するのに、補助金を出した数や金額ではなく、団体が活性化されたかどうかで評価する必要があることを実感しました。最近、エビデンスベースでの政策立案が求められています。行政には、多くの情報があるので、個々の情報をデータ化することで、簡易ではあるがエビデンスになることもあるので、さらに活用して、より効果を出す政策立案が必要と理解しました。

出張に伴う経費の精算

前 渡 金 額 55,640円

精 算 額 55,640円 過 不 足 額 0円

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号	
				7	
会 派 名	加古川維新の会	年 度	6 年度		
項 目	資料作成費	金 額	132,770 円		
内 容	令和7年度加古川市一般会計予算審議検討資料作成費用				
支 払 先	株式会社ソシオイノベーション	支払年月日	2025 年 2 月 20 日		
備 考	単価40,000円 3冊 計132,000円 振込手数料 770円				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）					

領収書

加古川維新の会 御中

領収日 2025-02-20
領収書番号 REC-0000000005
登録番号 T6140001046444

株式会社ソシオイノベーション

675-0045
兵庫県加古川市西神吉町岸131-1

件名 令和7年度加古川市予算審議補助資料作成費用

小計	消費税	合計金額
120,000円	12,000円	132,000円

摘要	数量	単価	明細金額
令和7年度加古川市予算審議補助資料作成費用	3	40,000	120,000

内訳	10%対象(税抜)	120,000円
	10%消費税	12,000円

備考

お振込日 和暦 年 月 日
070220

手数料
(消費税含む)

うち消費税(10%)

70

(注意)

- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のためお振込が遅延または入金できないことがあります。
- 通信機器・回線の障害など、やむを得ない事由によってお振込が遅延することもありますのでご了承ください。
- 得意先係でのお預かりは、受付年月日の翌営業日のお振込となりますのでご了承ください。
- 記載された個人情報、当該事務手続きのためにのみ利用し、それ以外の目的ではご利用いたしません。

毎度ありがとうございます。
全国どこへでもお振込ができる当金庫の
窓口を今後ともご利用ください。

 姫路信用金庫
登録番号:T4140005013558



(振込受付書の場合印紙不要)

令和7年度
加古川市一般会計予算審議検討資料

歳出予算事項別明細書

	予算額	前年度予算額	差 額	ページ
				87
議会の運営に要する職員給与費 今年度 12 人 前 12 人 差 0 人	109,174	107,338	1,836	
給料	53,838	52,499	1,339	
職員手当等	37,005	36,387	618	
共済費	18,331	18,452	△ 121	
(議事総務課) 議会運営事業	400,532	403,319	△ 2,787	
報酬	212,070	212,070	0	
職員手当等	96,490	94,369	2,121	
共済費	57,442	62,531	△ 5,089	
報償費	50			
旅費	7,435	7,309	126	
交際費	1,000	1,000	0	
役務費	5			
負担金、補助及び交付金	26,040	26,040	0	
市議会の会派及び議員に 対する政務活動費補助金	26,040	26,040	0	
議会管理事業	30,907	36,527	△ 5,620	
報償費	45			
旅費	2,164	2,173	△ 9	
需用費	10,222	16,271	△ 6,049	
役務費	369	1,565	△ 1,196	
委託料	8,099	7,768	331	
会議録作成委託料	4,158	4,021	137	
議場放送設備等保守点検委託料	605	605	0	
議会放映事業委託料	1,760	1,760	0	
会議録検索システム	1,249	1,128	121	
管理業務委託料				
議員だより(点字)作成業務委託料	255	254	1	
ネットワーク保守業務委託料	72			
使用料及び賃借料	6,820	6,877	△ 57	
備品購入費	1,531	258	1,273	
負担金、補助及び交付金	1,657	1,615	42	
全国市議会議長会負担金	925	925	0	
近畿市議会議長会負担金	91	91	0	
兵庫県市議会議長会負担金	134	134	0	
東播・淡路市議会議長会負担金	60	60	0	
全国市議会議長会研究	27	27	0	
フォーラム参加負担金				
東播・淡路市議会議長会	10	10	0	
事務局長研修会負担金				
二市二町議会議長会負担金	50	50	0	
二市二町議会議長会	30			
研修会負担金				
全国都市問題会議負担金	26	20	6	
播磨地方拠点都市地域	60	60	0	
市町議会協議会負担金				
兵庫県市議会議長会	5	5	0	
事務局長研修会負担金				
東播懇話会負担金	60	60	0	
研修参加負担金	179	173	6	
一般管理事業に要する職員給与費 今年度 339 人 前 327 人 差 12 人	2,932,127	3,379,535	△ 447,408	
給料	1,284,347	1,223,575	60,772	
職員手当等	1,185,853	1,700,531	△ 514,678	
共済費	461,927	455,429	6,498	
(秘書課) 秘書事務事業	12,939	15,629	△ 2,690	
旅費	5,113	7,141	△ 2,028	
交際費	3,000	3,000	0	
需用費	1,342	1,922	△ 580	
役務費	218	190	28	
使用料及び賃借料	332	392	△ 60	
備品購入費	50	100	△ 50	

	予算額	前年度予算額	差 額	ページ
委託料	13,312	12,328	987	
清掃業務委託料	2,981	2,780	231	
浄化槽清掃維持管理費	76	57	19	
業務委託料				
房水処理施設維持管理業務委託料	870	870	0	
消防設備保守点検業務委託料	44	44	0	
国家用電気工作物保守点検業務委託料	186	98	72	
宿泊館・工作館空調	308	182	176	
機保守点検業務委託料				
自動ドア保守点検業務委託料	33	31	2	
ボイラー保守点検業務委託料	173	180	△ 7	
野外活動センター総合管理業務委託料	7,528	7,301	227	
工作館夜間機械整備業務委託料	103	80	23	
宿泊館夜間機械整備業務委託料	103	80	23	
宿泊館害虫防除業務委託料	53	80	△ 7	
工作用機械保守点検業務委託料	178	171	5	
害虫駆除等業務委託料	100	100	0	
グリストラップ清掃業務委託料	99	72	27	
建築物定期点検業務委託料	305	164	141	
樹木剪定業務委託料	495	440	55	
使用料及び賃借料	1,994	1,500	494	
原材料費	150	150	0	
備品購入費	74	264	△ 190	

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			8
会 派 名	加古川維新の会	年 度	6 年度
項 目	資料購入費	金 額	90,640 円
内 容	ゼンリン住宅地図		
支 払 先	株式会社 ゼンリン	支払年月日	2025 年 2 月 20 日
備 考	デジタウン加古川市 単価44,935円 計2枚 合計89,870円 振込手数料 770円		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

ZENRIN

証 收 領

加西川、維新の会 様

〔金額の訂正は無効です〕

2025年2月20日

金額		百	拾	萬	千	百	拾	元
			7	8	9	8	7	0

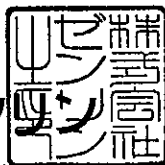
税率 10%対象 税抜金額 8,700 円 消費税額等 817 円

税率	%対象	税抜金額	円	消費税額等	円
----	-----	------	---	-------	---

但し デジタル・ユニバーシティ 計 2 校 として

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 ゼン



富山	076-432-8111	北陸	076-223-0468	福井	0776-25-1876	岐阜	058-272-2002
山屋	052-684-2801	津	054-286-1417	井川	053-422-6201	津	0532-54-1636
名津	059-227-8426	沼津	077-564-8380	都	075-812-2250	大井	06-6152-6224
神岡	078-252-3223	浜	079-288-9222	京	0742-64-3622	和歌山	073-473-8981
鳥高	086-241-0022	広	082-506-0600	奈良	084-981-3123	松	0852-21-2698
高橋	0857-29-2663	島	083-263-1066	山	083-922-0465	松	088-622-1308
大	087-861-4704	岡	089-905-1016	高	088-82-0622	北	093-592-8100
高	092-710-6074	賀	0952-25-2036	鹿	095-826-3357	九	096-370-1400
橋	097-534-0879	崎	0985-24-8887	島	099-223-0740	州	

登錄番号：T5290801002046

担当者

2023.09改

お振込日 和暦 年 月 日
070220

(ご注意)

毎度ありがとうございます。
全国どこへでもお振込ができる当金庫の
窓口を今後ともご利用ください。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			9
会 派 名	加古川維新の会	年 度	令和 6 年度
項 目	資料作成費	金 額	2,380円
内 容	病院 中山 2 号 追記 地方独立行政法人加古川市民機構評価委員会資料等コピー代		
支 払 先	加古川市	支払年月日	令和7年 3月 3日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

領 収 書

納入義務者	番号 154
氏 名 落合 誠 様	年度 6

(款) 22 諸収入	(項) 07 雑 入
---------------	---------------

(目) 03 雑 入	(節) 07 雑 入
---------------	---------------

(事業) 公文書等写し交付収入

納 付 金 の 内 容	白黒238枚			¥	2	3	8	0	円
	カラー 枚								
延 滞 金									
合 計 金 額				¥	2	3	8	0	

上記の金額を領収しました。
令和 7 年 3 月 3 日
加古川市会計管理者
(取扱者)
加古川市総務課長
[印]



所管課 総務課

公文書開示決定通知書

加地医第1971号

令和7年2月21日

落合 誠 様

(実施機関名)

加古川市長 岡田 康

令和7年2月20日付けで開示の請求のありました公文書については、加古川市情報公開条例第10条第1項の規定により、次のとおり開示することを決定したので、通知します。

開示請求に係る公文書の件名	令和6年に地方独立行政法人加古川市民機構評価委員会を開催した時の配布された資料全部（3回分）と議事録があれば3回分の議事録を開示請求します。 <以下、開示公文書> 令和6年度地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会の第1～3回配付資料及び議事録	
開示の日時及び場所	日時	令和7年3月3日 16時45分
	場所	行政資料室
開示の方法	☐ 閲覧 ☒ 写しの交付 ☐ その他（ ）	
所 管 課	健康医療部 地域医療課 電話 079-427-9588（直通）	
備 考		

注 1 公文書の開示を受ける際には、この通知書を係員に提示してください。

2 指定された日時に来庁できない場合は、あらかじめ所管課に連絡してください。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			10
会 派 名	加古川維新の会	年 度	令和 6 年度
項 目	研修費	金 額	90,425 円
内 容	「自治体病院と地方財政の基礎」 「必ず成果が出る質問の取り上げ方」 「病院改革から病院経営強化へ」		
支 払 先	地方議員研究所 ほか	支払年月日	令和7年3月25日
備 考	振込手数料385円含む		

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

〈たのよう〉カードサービス
ご 利 用 明 細 票

ご利用いただきありがとうございます。
お取扱の明細は下記のとおりでございます。
裏面もご覧下さい。

ご利用年月日	07-03-08	取扱金庫店番・通番	1696014-7007
お取引金融機関	□ 座 番 号	*****-*****-*****	
お 取 扱 金 種	万 円 千 円 百 円	お 取 扱 金 額	¥45,000 円
005:000:000			
お取扱内容	お 取 扱 後 の 残 高		
お振込			
利用手数料 (消費税込)	¥385	ページ	硬貨
時刻	14:13	おつり	¥4,615
銀行			
支店			
ツヤ)シーゲ-セミナー様			
カコカ"ワツキ"イカイ オチアイマコト様			
TEL			
お振込手数料 お振込手数料 お振込手数料			
ご利用ありがとうございました。			

領収証

2025 年 3 月 25 日

加古川維新の会

様

★

¥45,000

但 3/25.26 地域の医療を守る特別研修

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

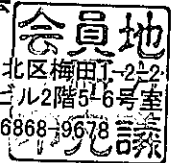
地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678



出張調査届

令和7年3月11日

市議会議長様

会派名 加古川維新の会

代表者 落合 誠

印

このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

落合 誠

調査都市名及び調査内容

地方議員研究会「自治体病院関連質問で地域の医療を守る特別研修」

場所：リファレンス西新宿大京ビル2階（東京都新宿区西新宿7丁目21-3）

日程：3月25日（火）

10：00～12：30 自治体病院と地方財政の基礎

3月26日（水）

10：00～12：30 必ず成果が出る質問の取り上げ方

14：00～16：30 病院改革から病院経営強化へ

出張期間 令和7年3月25日（火）～ 令和7年3月26日（水）

旅 費 内 訳	日 当 (単価 円 日分)	円	経 路
	宿 泊 料 (単価 14,000円 × 1 日分)	14,000円	加古川駅
	鉄 道 賃 (8,810円 × 2)	17,620円	西明石駅 (J R)
	急行料金 (6,760円 + 6,660円)	13,420円	品川駅 (のぞみ)
	航 空 賃 ()	円	新宿駅 (J R)
	車 賃 ()	円	研修会場 (徒歩)
	船 賃 ()	円	新宿駅 (徒歩)
	出席者負担金 (受講料 15,000円 × 3)	45,000円	品川駅 (J R)
	そ の 他 ()	円	新神戸駅 (のぞみ)
	合 計	90,040円	西明石駅 (こだま)
			加古川駅 (J R)

※往復割引適用後の運賃 9,790円×0.9=8,810円（10円未満切捨て）



出張調査研修報告書

令和 7年 3月27日

市議会議長様

会派名 加古川維新の会

出張者氏名 落合 誠



印

印

下記のとおり報告します。

日 程 令和 7年 3月25日(火)～令和 7年 3月26日(水)

研修先 リファレンス西新宿大京ビル2階

研修事項

「自治体病院と地方財政の基礎」

「必ず成果が出る質問の取り上げ方」

「病院改革から病院経営強化へ」

復命事項(所見及び感想)

別紙にて

出張に伴う経費の精算

前渡金額 90,040円

精算額 90,040円 過不足額 0円

■研修項目

「自治体病院と地方財政の基礎」「必ず成果が出る質問の取り上げ方」「病院改革から病院経営強化へ」

■以下報告します。

「自治体病院と地方財政の基礎」について

直営で市民病院を運営していること、独立行政法人化しているところでは当然違いがあるが、基礎を知っていることは必要であるそうです。また、講師と名刺交換させてもらった時に加古川中央市民病院は、利益も出ており、患者がたくさん来ているが、忙しすぎてスタッフの待遇に問題があるとの市民からご意見をいただき学びに来たと伝えると加古川は、一人勝ちですからね。高砂に患者を回すとかしないかね。と加古川や高砂のことも理解しており、びっくりしました。講演は、一般的なものなんで、以下記載の事は、独立行政法人でも可能かは、確認が必要であるが、とりあえず報告と今の知識での所感になります。まず、総務省では、地方公共団体の財政などにアドバイザーを無料で派遣する事業がスタートしたそうです。また、病院関係については、職員も不勉強なところもあるので、議員からの健全な圧力や応援する発言は大変重要であるとのことでした。また、経営を考えるには、病床数による補助の有無もあることから知った上での変更が財政面で重要であり、また、低コストで建てなどをするには、設計のみをさせると、デザイン優先でどんどん高い建設費となるため、発注時に工夫が必要であるとのことでした。さらに今後も新興の感染症は必ず起こるため、そのための対策も含めた改修が必要であり、また、感染症対応には、通常以上の看護師が必要となるため、今後の看護師不足も含めて、早めの対策が必要とのことでした。今回の学びを今後の活動に活かす必要性を痛感しました。

次に「必ず成果が出る質問の取り上げ方」について

講師は、全国市長会の市政の偶数月に記事を掲載しているそうで、引き続き確認をしていきます。今回の項目では、加算を取れていない病院が多いとのことだったので、加古川中央市民病院は、どうか 尋ねたら、経営面で、ゆうことがないくらい頑張っているとのことですが、今後を考えると中小病院と連携して看取りができるところをつくることが重要であるとのことでした。また、大変忙しい状況であることが考えられ、スタッフのモチベーションの維持への努力と新規スタッフ採用による継続的な努力が持続的で安定的な経営となり、患者さんへのサービスの維持につながると思われます。今回のコマは、他の病院との比較による時間が多くあり、加古川中央市民病院が、DPC 特定病院群に入っており、ステイタスにもなるほど、優良であることがわかりました。ただ、継続するには、いい状況の時ほど努力が必要であると思われます。

次に「病院経営改革から病院経営強化へ」について

今後は、看護師不足が深刻化していき、看護師を増やすか退職者を減らすか。いずれかを考えていくか。今は、看護師がしている仕事を法律に基づいて他の者がすることにより、看護師が他の仕事ができるようにするなどを検討しないといけなく、例えば、透析の機械の使用は、看護師でなく、臨床工学技士がするなど、看護師を増やすことが難しい場合は、医療技術職を採用するなどしないといけないです。また、総務省の経営強化ガイドラインによると、医師、看護師を確保することが、収益改善になる場合もあると記載されており、逆に考えると減らすことが、収益の悪化になるということでもあると感じます。順調な時ほど先を見据えた投資が必要とも考えます。さらに後方支援をしてもらう中小病院がある方が収益の上がる可能もあり、施設間の連携の必要性を学びました。そして、アフターコロナの新たな病院経営の視点に、医療、介護職の安定的な雇用も必要となってくるそうです。5年後以降に18歳になる人口は、更に減っていきます。医師や薬剤師は、AIなどの進化で必要人数も減る可能性があります。看護師は、ケア的な要素が高いため、人数を減らす事は難しいと思われます。

また、2035年には、深刻な人手不足も考えられますので、前倒しでの対策も必要であり、男性や外国人を含めた対策も検討すべきと考えられます。また、夜勤の負担が辞める原因の一つでもあることから眠りスキャンなどの導入している病院もあるそうで、田舎では、看護師不足対策が始まっており、加古川市でも中央市民病院だけでなく、市内の看護師確保策をすぐにでもスタートしていくべきと考えます。報告者:加古川維新の会 落合誠